



昭和5年ごろの田植えの様子

= 46 =



# 浮島 昭和52年 (東小学校南側)



変わらない風景、でも実は…

實さん 昔、浮島地区はその名前のとおり、アシが生い茂る沼地でした。腰まで水につかって田植えをしたものでしたよ。

しかし、昭和30年代と60年代に行われた2回の土地改良で、農業の環境は大きく変わりました。特に2回目の土地改良

では、水利の向上・乾田化をはじめ、田んぼを集約して一枚の面積を大きくし、道路の拡幅に伴い、大型機械を導入しま

した。その結果、米の品質と収穫量が大幅に向上しました。写真当時と現在を比べると、見た目以上に、私たち農家にと

って大きな進展があったんですよ！  
初代さん 土地改良以前、東田子の浦駅を利用する学生は、アシの生い茂った細

い道を徒歩で通学していました。今では、整備された道路を自転車がさつそうと通り過ぎたり、自動車が吉原沼津線や国道

1号に乗り入れたりすることが当たり前前の風景になりました。

今、整備された土地で農業ができることに本当に感謝しています。変わらない

富士山の雄姿に見守られ、変わらない農業への思いを胸に、おいしいお米とお茶の生産に向けてきょうも頑張っています。



浮島で米や茶を生産している

後藤 <sup>みのる</sup> 實さん

初代さん (西船津)

### こちら編集室

4歳下の妹は、服や自転車など私の“お古”を嫌がりました。「お姉ちゃんばっかり買ってもらってずるいな」と、年下なりのプライドが許さなかったようです。昨年その妹が嫁ぎ、余興の準備のため久しぶりにアルバムをめくりました。懐かしい写

真の中に、見覚えのある七五三の着物や、おもちゃたちが…。妹と私の思い出は、「物」でつながっていました。要らなくなった物も、「リユース」すれば、だれかの新たな思い出に。物を大切に使うことは、人の心を温かくしてくれそうです。(り)

人口	243,815人	(前月比-38)
男	121,050人	(-55)
女	122,765人	(+17)
世帯	88,784世帯	(+19) 10月1日現在
編集・発行	富士市総務部広報広聴課	
〒	417-8601 静岡県富士市永田町1-100	
☎	0545-51-0123(代)	☎0545-51-1456



平成19年11月5日号(毎月5日・20日発行)

ホームページ <http://fujishi.jp>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています